

モデレータ



国立環境研究所
地球環境
江守 正多

国立環境研究所 地球環境
研究センター気候変動リスク
評価研究室長。
東京大学大学院総合文化研
究科博士課程修了。博士(学
術)。1997年に国立環境研
究所。専門は地球温暖化の将来
予測とリスク論。IPCC WGI
AR5の主執筆者。2012年に日
本気象学会堀内賞受賞。著書
に「異常気象と人類の選択」
等。

2011年より現職。

パネリスト



毎日新聞社
読者
大場 あい

毎日新聞社つくば支局兼科
学環境部記者。
2003年毎日新聞社入社。山
形支局、東京本社科学環境部、
北海道報道部で勤務。科学環
境部では環境、科学技術政策、
再生医療などを担当。
2016年より現職。



SOMPO
リスクマネジメント(株)
SOMPO 代表
福渡 潔

SOMPOリスクアーマネジ
メント(株)CSR環境事業部長。
1988年に安田火災海上保険
株式会社(損害保険ジャパン
日本興亜(株))入社。1994年に
米自然保護団体に派遣。
1995年に国立環境研究所の地
球環境研究センターに転向。
2006年に損害保険ジャパン日
本興亜(株)のCSR・環境推進室。
2010年より現在の会社に所
属。



東京大学大学院
環境学
永瀬 萌

東京大学大学院生。
早稲田大学創造理工学部を
卒業後、2017年4月より東京
大学大学院工学系研究科に進
学。大学3年次に国立環境研
究所のインターンシップに参
加。また、学生環境団体に所属
し、環境活動に従事する大学
生のネットワーク形成等に取
り組む。

現在はリサイクル技術の社
会実装に向けた社会システム
の考案・検討を研究。



環境省
前給水官
竹本 明生

環境省 地球環境局研究調
査室長(併任:気候変動適応室
長、内閣府宇宙開発戦略推進
事務局参事官)。
茨城大学大学院博士課程修
了。博士(工学)。理学修士(北
海道大学)。1992年環境庁入
庁。通商産業省、外務省OECD日
本政府代表部、などを経て、2010
年より環境省水・大気環境局地
下水・地盤環境室長。
2014年より現職。



国立環境研究所
地球環境
飯岡 靖明

国立環境研究所 社会環
境システム研究センター地域環
境影響評価研究室長。
東京大学大学院工学系研
究科博士課程(都市工学専攻)修
了。博士(工学)。2001年に国立
環境研究所。アジア太平洋統
合評価モデル(AIM)開発グ
ループの一員。専門は気候変
動による影響と適応策のモデ
ル解析。IPCC WGII AR5の統括
執筆責任者および1.5°C特別
報告書の主執筆者。
2016年より現職。

こんなとき

ココが知りたい

地球温暖化の適応策

ボク
熊は水浴び。

キミたち
人間は、

どうするの？

日時： 4月22日(土)

13:00~14:30

場所： 国立環境研究所

地球温暖化研究棟1F 交流会議室



事前申し込み不要